

みなさんは「ブッポウソウ」という鳥をご存じですか？

鳩よりもやや小さい青緑色の綺麗な鳥で、鳴き声が「ブッポウソウ」と聞こえることからそのような名前がついたといわれていました。

しかし、実際に鳴き声が「ブッポウソウ」と聞こえるのは「コノハズク」であることが分かり、現在は「ブッポウソウ」という名前の鳥と、「ブッポウソウ」と鳴く鳥は別の鳥となっています。

さて、この「ブッポウソウ」。もともとは、仏法僧（ぶっぽうそう）という、仏教徒の護るべき三つの宝である、三宝を表す言葉からきています。

仏（ぶつ）は「ほとけ」。これはお釈迦さま、仏さまを表します。

法（ほう）はこの場合、お釈迦さま、仏さまの教え、「仏法」を表します。

僧（そう）は、僧侶を含めた仏さまの教えを護る人々のことです。

言い換えてみますと、

仏（ぶつ）、つまり仏とは、仏教徒が目指すもの。

法（ほう）は、仏教徒が従う教えとルール。

僧（そう）は、仏教の教えを護り、共に修行をする尊い仲間。

といったところでしょうか。

道元禪師は『正法眼蔵』「道心」の巻で、

「仏道を求めてまことの道心をおこしたら、深く仏法僧の三宝を供養し、うやまいたてまつるべきであり、ねてもさめても三宝の功德をおもい、三宝をとらえるべきである。」と説いています。

このように、仏教を志すものは皆、三宝を敬う事を怠ってはいけないとされてきました。

信心深く「三宝」を敬う先人たちの真摯な思いが、コノハズクの鳴き声を「ブッポウソウ」と聞き、「綺麗な鳥にその鳴き声を託した」と考えられはしないでしょうか？

現在の私たちも、この「三宝」を敬う気持ちを大切にしたいものです。